

宇都宮市立錦小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【生活について】 ○「自分もっている能力を十分に発揮したい」の肯定的回答の割合は、96.1%と高く、県の肯定的割合を7.4ポイント上回っている。それぞれの児童が力を発揮できる場を学習や生活の場面で意図的に作り、この意欲を活かしていきたい。 ○「家の人として来ることについて話すことがある」の肯定割合は、82.7%で県を17.3ポイント上回っている。児童が将来への夢や希望をもち、家族で話題にすることで、児童の学習や生活への意欲の高さにより影響を与えていると考えられる。 ○「家の人と学習について話をしている」の肯定割合は、92.3%で県を16.2ポイント上回っている。また、「自分は勉強がよくできる方だと思う」の肯定割合は、67.3%で県を11.8ポイント上回っている。家庭の学習への関心の高さが、児童の学習意欲や自信にかかわっている様子がうかがえる。 ●「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」についての肯定的回答は75.0%で県の割合を7.2ポイント下回る。時事問題にも興味をもてるよう家庭と協力して指導していきたい。
【学習について】 ○「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習じゅくや家庭教師もふくむ)。」について、1時間以上が65.5%で県の53.0%を12.5ポイント上回っている。学校以外での学習の時間を確保している児童が多い。 ○「1か月に、何さつくらい本を読みますか(教科書や参考書、まんがやざっしはのぞく)。」について、5～11冊以上が65.4%で県の41.5%を23.9ポイント上回っている。家読などを継続している結果だと考えられる。 ○「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」についての肯定的回答の割合は、88.5%で県の割合を8.7ポイント上回っている。ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、より深い学習を目指したい。 ●「家で、学校の授業の予習をしている」の肯定的回答の割合は、44.3%で県を7.9ポイント下回っている。予習に取り組めるよう指導していきたい。 ●「家で、学校の授業の復習をしている」の肯定的回答の割合は、57.7%で県を7.6ポイント下回っている。授業の復習を習慣づけるように指導していきたい。

宇都宮市立錦小学校（第4・5学年共通）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	「話すこと・聞くこと」など言語に係る基本的な能力・技能を身に付けさせる話し合い活動の充実と、互いのよさを生かしながら課題に取り組む態度の育成を目指したグループ学習の適切な設定。	「クラスの友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の肯定割合は4・5年生ともに県の平均より高かった。また、どちらの学年も、分からないことがあるときには、本やインターネットを利用して自ら調べる態度が身に付いている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
国語「書くこと」の領域における正答率の向上	「自分の考えを書く活動」の習慣化。	まとめや振り返りを自分の言葉で書く活動を積み重ねていくことで、段落構成を考えたり、内容の中心を明確にしたり、事実と自分の考えを分けて書いたりすることができるように指導していく。